

参加無料  
要申込



2月23日(月祝) 14:00~15:30  
13:30受付開始

豊田市中央図書館 6階多目的ホール

講 師 明木 茂夫 氏

(中京大学国際学部 教授)

定 員 先着40名



HPはこちら

申 込 2月5日(木) 10:00から  
図書館ホームページ、電話、窓口にて

写本『律呂』とは?

江戸末期の京都方楽人安倍季良(あべすえはる)が著した『山鳥秋要抄』の貴重な伝本の一つ。旧拳母藩主内藤家から当館に伝わったとされる本書は、当時の拳母藩で行われていた雅楽の演奏活動や資料収集活動を現在に伝える貴重な一冊です。通常は非公開の資料ですが、今回会場で特別に展示します。

参考文献: 明木茂夫『豊田市中央図書館の江戸期学芸書』汲古書院2022

主催: 豊田市中央図書館

豊田市西町1-200 豊田参合館内 (電話) 0565-32-0717

共催: 中京大学文化科学研究所

豊田市中央図書館に眠る江戸時代の雅楽書  
写本『律呂』はどのように読まれたか

環境への配慮のため、可能な限り公共交通機関でお越しください